

2 専門科目（全経営学科共通）

科目名	農業経営	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	農業経営に必要な戦略や財務の基礎や一般的な知識について理解するとともに、実際の農業経営先進事例を学習する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)				回
	1 農業経営の基礎		(1) 緒論 (2) 農業経営の要素 (3) 農業経営組織 (4) 農業経営環境 (5) 農業経営の管理・運営 (6) 農業経営の法人化				1 2 3～4 5 6～7 8～9
	2 農業経営の実際		(1) 先進事例講義				10～12
	3 農業経営の発展計画		(1) 経営診断 (2) 経営計画、キャッシュフロー計画				13 14
使用テキスト	『農業経営』実教出版						
参考図書	配付資料						
評価の要素	筆記試験、学習態度、課題提出						

科目名	農業経営演習	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	事例研究により経営への理解を深めるとともに、経営プロセスの体験により経営管理能力を養成する。						
指導 内 容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 ケーススタディ		(1) 基調講義 (2) 事例研究① (3) 事例研究② (4) まとめ			1～2 3～4 5～6 7	
	2 マネジメントゲーム		(1) 会計処理、決算 (2) 経営計画、経営戦略 (3) 市場取引、意志決定 (4) 収益性、安全性、生産性			8～14	
使用テキスト	配付資料						
参考図書	無						
評価の要素	学習態度、課題提出						

科目名	農業法規	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	農業経営を実践する際に知識として必要となる関連法律について理解する。						
	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 基礎的な法律		(1) 民法 (2) 食料・農業・農村基本法 (3) 農地法、農振法 (4) 農業経営基盤強化促進法、農地中間管理法 (5) 土地改良法			1～5	
	2 安全な農産物の生産に関する法律		(1) 食品衛生法 (2) 毒物及び劇物取締法 (3) JAS法、トレーサビリティ法、農産物検査法 (4) 農薬取締法、植物防疫法 (5) 計量法			6～10	
	3 農業生産に関連する法律		(1) 環境基本法、土壌汚染対策法、水質汚濁防止法 (2) 肥料取締法、家畜排せつ物法 (3) 食糧法 (4) 農業保険法、農業災害補償法			11～14	
使用テキスト	配付資料						
参考図書	無						
評価の要素	筆記試験、課題提出、学習態度						

科目名	農業関連産業論	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	農業は農産物の生産行為単体で成り立つものではなく、流通の加工・販売、また、農産物生産に寄与する農業機械・農薬・肥料・農業資材の供給等幅広い経済活動で成り立っている。それらに関する知識と農業支援組織として総合的に関与する農業協同組合等について学習する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 農業関連産業		(1) 農業関連産業に関する知識 (個別の関連産業については就職・就農講座)			1	
	2 農業関連会社		(1) 農業関連会社の概要及び業務内容 (種苗会社、肥料会社等の仕事)			2～3	
	3 農業支援組織		(1) 農業支援組織の種類、特色 (農協、農業共済組合の仕事)			4～7	
使用テキスト	無						
参考図書	配付資料						
評価の要素	レポート、学習態度等						

科目名	簿記概論	区分	共通専門科目	単位	3	総時間	45
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	複式簿記の原理、記帳法、決算手続き等を理解し、農業経営実践のために必要な会計処理の技術を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 簿記の基本		(1) 簿記の意義としくみ (2) 仕訳と転記 (3) 仕訳帳と元帳 (4) 決算			1～3 4 5	
	2 各種取引の記帳		(1) 現金と預金 (2) 繰越商品・仕入・売上 (3) 売掛金と買掛金 (4) その他の債権と債務 (5) 受取手形と支払手形 (6) 有価証券 (7) 固定資産			6 7～8 9 10～11 12～13 14 15～16	
	3 決算整理仕訳		(1) 貸倒損失と貸倒引当金 (2) 資本金と引出金 (3) 収益と費用 (4) 伝票 (5) 財務諸表			17 18 19 20 21～22	
	使用テキスト『検定簿記講座3級商業簿記』中央経済社、『日商簿記3級に”とおる”テキスト』ネットスクール出版ほか						
	参考図書 配付資料						
	評価の要素 筆記試験、学習態度						

科目名	農業情報処理基礎	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	農業経営に必要な情報処理技術の基礎を身に付ける。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	【講義】 1 コンピュータ		(1) ハードウェア			1	
	2 情報通信ネットワーク		(1) ネットワーク (2) インターネット (3) メール			2～3	
	3 情報モラルと情報セキュリティー		(1) 情報モラル (2) 情報セキュリティー			4～5	
	【演習】 4 ウィンドウズの操作		(1) ウィンドウズの基本操作			6	
	5 インターネット		(1) ブラウザソフトの基本操作			7	
	6 文書作成及びデータ処理演習		(1) マイクロソフトワードの操作 (2) マイクロソフトエクセルの操作 (3) マイクロソフトパワーポイントの操作			8～14	
	使用テキスト	『よくわかるマスターP検3級公認テキスト』、『例題30＋演習問題70でしっかり学ぶWord/Excell/PowerPoint』					
参考図書	配付資料						
評価の要素	筆記試験、受講態度、レポート等						

科目名	農業情報処理応用	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	農業経営に必要な情報処理技術の応用を身に付ける。						
指導 内 容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 インターネット販売の方法		(1) インターネット販売の利点と注意点、手順			1	
	2 ネットショップ開店の下準備		(1) 決裁・発送方法、ドメイン取得等の準備 (2) サイト作りのためのストーリー作り			2	
	3 ロールプレイ		(1) ロールプレイシートの作成 (2) セールストークロールプレイ			3	
	4 商品ページ作成方法		(1) 商品ページラフ作成			4	
	5 トップページ作成方法		(1) トップページラフ作成			5	
	6 効果的な文章作成と写真撮影方法		(1) キャッチコピー・文章作成のコツ (2) 商品の写真撮影方法			6	
	7 商品の販売と適切な顧客対応、総括		(1) 日々のサイト管理方法と顧客対応 (2) まとめ			7	
使用テキスト	『はじめてのネットショップ 開店・運営講座』						
参考図書	配付資料						
評価の要素	筆記試験、学習態度、課題提出						

科目名	農業情勢Ⅰ	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	農業情勢(国内外の概要)を理解する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 日本人と食		(1) 日本の食文化			1	
	2 日本の農業		(2) 食料自給率、食物の輸入 など			2～4	
	3 日本の農村		(1) 農業所得、農業就業者、農地の状況 (2) 安全・安心、環境保全を重視した取組 (3) 主要農産物の動向 など			5	
	4 世界の食料、農業情勢と農産物貿易交渉		(1) 農業・農村の多面的機能 (2) 地域産業の6次化、直売所 など			6	
	5 震災からの復旧・復興		(1) 主要穀物生産の動向 (2) 貿易交渉(TPP、FTA、WTO)など (1) 東日本大震災の被害と復旧・復興 (2) 安全な農産物の生産 など			7	
使用テキスト	『日本農業とJA(第11版)』JA全中、配付資料						
参考図書	無						
評価の要素	筆記試験、課題提出、学習態度						

科目名	農業情勢Ⅱ	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	農業情勢(本県の状況、主要施策・制度等)を理解する。						
	大項目 (単元)	(小項目) (教授内容)					回
1	ふくしま復興のあゆみ	(1) 東日本大震災の被害と復興状況など					1
2	ふくしま農林水産業新生プラン	(1) プランの内容、主要施策 (2) 農業・農村の動向 など					2
3	県産農畜産物の輸出	(1) 県産農畜産物の輸出の現状 (2) 県産農畜産物輸出拡大に向けた取り組み					3
4	新たな米政策	(1) 経営所得安定対策 (2) 米の需給状況 など					4
5	鳥獣被害対策	(1) 鳥獣被害の現状 (2) 鳥獣被害防止対策					5
6	再生可能エネルギー	(1) 再生可能エネルギーの導入促進策 (2) 県内の動向及び導入事例					6
7	日本型直接支払制度	(1) 多面的機能支払 (2) 中山間地域等直接支払					7
使用テキスト	配付資料						
参考図書	無						
評価の要素	筆記試験、課題提出、学習態度						

科目名	土壌肥料概論	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	土壌・肥料の基礎知識を学び、農業経営に必要な「土づくりと作物生産」との関係の基礎を理解する。また、実際の農業に役立つ土壌改良や施肥法について学ぶ。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1	土壌の性質	(1) 土壌の化学性 (2) 土壌の物理性 (3) 土壌の生物性			1～2 3 4	
	2	植物の必須元素と有害元素	(1) 多量必須元素 (2) 微量必須元素と有害元素			5 6	
	3	作物の生育診断	(1) 要素の欠乏症と過剰症			7	
	4	耕地土壌の特徴	(1) 水田土壌 (2) 畑土壌 (3) ハウス土壌			8 9 10	
	5	土壌の診断と施肥管理	(1) 土壌の診断と改良 (2) 化学肥料と有機質肥料 (3) 施肥管理法 (4) 肥料計算			11 12 13 14	
	使用テキスト	『土づくりと作物生産 収量・品質向上のための土づくりの基礎』(一財)日本土壌協会					
参考図書	配付資料						
評価の要素	学習態度、筆記試験						

科目名	農業機械	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	農業機械の種類、構造と機能、農作業安全など農業経営に必要な基礎知識を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 農業と農業機械		(1) 農作業安全 (2) 農業機械の発展と役割 (3) 農業機械の基礎			1～4	
	2 農業機械の構造と役割		(1) トラクタの構造と利用 (2) 作業機の構造と利用 (3) 電動機			5～9	
	3 農業機械の利用と機械化体系		(1) 効率的な利用 (2) 農業機械の導入利用計画 (3) スマート農業			10～14	
使用テキスト	『農業機械』木谷収他編 実教出版						
参考図書	『農業機械の構造と利用』農山漁村文化協会						
評価の要素	筆記試験、学習態度等						

科目名	農業機械基礎実習	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	45
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	トラクタ、管理機、刈払機、及び作物別の農業機械の基本操作、点検整備、安全対策など農業経営に必要なとなる技能を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 機械整備の基礎		(1) 工具の取扱い (2) 整備時の安全対策			1～2	
	2 農業機械の基本操作・点検整備		(1)トラクタ (2) 管理機、刈払機 (3) 作業機(ロータリなど)			3～12	
	3 アーク溶接の基礎		(1) アーク溶接の理論 (2) アーク溶接作業			13～18	
	4 スマート農業					19～22	
使用テキスト	『農業機械』木谷収他編 実教出版						
参考図書	『耕うん機と刈払機の構造と安全な使い方』日本農業機械化協会						
評価の要素	課題提出、学習態度						

科目名	農業機械操作実習Ⅰ	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	45
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	トラクタの基本操作と運転技術を身につけ、大型特殊免許(農耕車に限る)の取得を目指す。なお、本実習が始まるまでに、普通自動車免許を取得しておくことが望ましい。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 トラクタの基本操作		(1)トラクタの運転操作 (2) 前後進、外周走行、車庫入れ			1～4	
	2 トラクタの路上走行		(1) 道路交通法に従った路上走行 (2) 運転コースの解説 (3) 運転技能の評価			5～18	
	3 大型特殊免許(農耕車に限る)受験		(1) 運転免許センターでの技能試験			19～22	
使用テキスト	無						
参考図書	『トラクタの構造と安全な使い方』日本農業機械化協会、配付資料						
評価の要素	課題提出(技能試験の結果)、学習態度						

科目名	マーケティング論	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	現代市民社会における経営としての農産物マーケティングの重要性の認識と実践の基礎を習得する。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 経営、マーケティング、農産物マーケティングの内容と体系		(1) 経営・マーケティングコンセプトの変遷 (2) 農産物マーケティングの内容と体系 (3) 経営コンセプト、マーケティングコンセプト、生活者コンセプト			1 2	
	2 現代農産物マーケティングの内容と体系		(1) マーケティングの4要素と体系的マネジメント (2) 生活者の諸要求と経営の対応 (3) 商品開発とマーケティングマネジメント			3 4～5	
	3 現代マーケティングの諸問題		(1) 地域と農産物マーケティング (2) その他			6 7	
使用テキスト	『クチコミュニティ・マーケティング』日本実業社、『これだけは知っておきたい「マーケティング」の基本と常識』フォレスト出版						
参考図書	配付資料(経営者向けの月刊誌を中心とした資料を随時用意する)						
評価の要素	筆記試験、学習態度						

科目名	マーケティング演習	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	現代市民社会における経営としての農産物マーケティングに関する意思決定を諸事例をとおして判断する能力を養う。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 経営、マーケティング・農産物マーケティングの内容と体系および事例		(1) 福島県における農産物商品の「地域特性」 (2) 福島県農産物マーケティングのあり方			1～5	
	2 商品開発のマーケティング・マネジメント		(1) 商品別商品開発事例の研究			6～10	
	3 地域とマーケティング・マネジメント		(1) 地域の開発と農産物マーケティング (2) 福島県「GAP」推進活動 (3) その他			11～14	
使用テキスト	『「コト消費」の嘘』角川書店、『物を売るバカ』角川書店、『“圧倒的信頼”が手に入る営業PDCA』三笠書房						
参考図書	配付資料(経営者向けの月刊誌を中心とした資料を随時用意する)						
評価の要素	学習態度、課題提出						

科目名	食品製造	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	食品を加工する意義について理解するとともに、食品劣化防止や食品の加工法、さらに食品に含まれる栄養素について学ぶ。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 授業目的と食品の成分		(1) 授業の目的 (2) 食品の成分			1	
	2 食品を加工する意義		(1) 食品を加工する意義			2	
	3 食品保存の原理と方法		(1) 食品の変質を起こす要因とその防止方法			3	
	4 食品加工の原理と方法		(1) 食品加工法の分類及び方法			4	
	5 植物性食品の加工法		(1) 穀類、豆類、野菜類、果実類他			5	
	6 動物性食品の加工法		(1) 肉類、卵類、乳類、食用油脂			6	
	7 酒類、調味料、調理加工食品		(1) 酒、調味料、みそ、しょう油、レトルト食品			7	
使用テキスト	配付資料						
参考図書	配付資料						
評価の要素	課題提出、学習態度						

科目名	卒業論文	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	卒業論文の計画を立て、科内設計検討会で発表する。また、2年生の卒業論文計画発表会、中間検討会、卒業論文発表会への出席・聴講、質疑応答への参加を通し、2年次に自らが取り組む卒業論文についての理解を深める。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 課題設定及び調査計画の策定		(1) 卒業論文計画の策定			1～5	
	2 科内検討の実施		(2) 卒業論文計画検討会(科内)での発表及び計画内容の検討			6～7	
	3 2年生の卒論関連発表会等への出席		(1) 卒業論文計画発表会(科内)の聴講及び質疑応答への参加 (2) 卒業論文中間検討会(科内)の聴講及び質疑応答への参加 (3) 卒業論文発表会(科内・全体)の聴講及び質疑応答への参加			8～14	
使用テキスト		無					
参考図書		配付資料					
評価の要素		卒論の設計内容、学習態度					

科目名	卒業論文	区分	共通専門科目	単位	8	総時間	120
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	専門科目、経営実習等で学んだ専門知識、技術の集大成として卒業論文の執筆に取り組むことにより、自己解決能力を醸成するとともに、発表会等を通して自己表現能力を養う。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 調査研究の進め方		(1) 作業計画、調査計画の樹立 (2) 卒論計画発表会(科内)での発表			1～6	
	2 調査法・観察法		(1) 課題解決のための調査方法・観察方法 (2) 中間検討会(科内)での発表			7～18	
	3 データ、資料収集		(1) データの収集、分析 (2) 資料の収集、読解			19～34	
	4 結果の分析・評価・考察		(1) 結果の分析、とりまとめ (2) 卒業論文発表会(科内・全体)での発表			35～60	
使用テキスト	無						
参考図書	配付資料						
評価の要素	卒論の内容、学習態度						

科目名	(自由選択) 簿記検定講座	区分	共通専門科目	単位	2	総時間	30
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	日商簿記検定試験(3級)合格を目指す。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 諸取引の仕訳		(1) 現金、現金過不足、商品売買、手形 (2) 貸倒と貸倒引当金、前受金、前払金、借入金、仮払金 (3) 利息、給料、立替金と預り金、商品券 (4) 固定資産、有価証券、修正仕訳、伝票会計			1 2 3 4	
	2 試算表		(1) 試算表の作成			5～7	
	3 期末整理事項		(1) 減価償却、見越しと繰延			8	
	4 精算表		(1) 精算表の作成			9～10	
	5 財務諸表		(1) 帳簿の締切、貸借対照表、損益計算書			11	
	6 補助簿		(1) 商品有高帳、売掛金元帳、手形記入帳 (2) 小口現金出納帳、当座預金出納帳			12 13	
	7 総合演習		(1) 模擬問題演習			14	
	使用テキスト	『日商簿記3級未来のための過去問題集』ネットスクール出版、『検定簿記講義3級商業簿記』中央経済社					
参考図書	『日商簿記3級に”とおる”テキスト』、『日商簿記3級に”とおる”トレーニング』ネットスクール出版						
評価の要素	日商簿記検定試験(3級)結果、学習態度						

科目名	(自由選択) 毒物・劇物取扱解説	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	農薬の一部が含まれる毒物・劇物の取扱を学び、毒物劇物取扱者資格の取得を目指す。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 毒物及び劇物の性質		(1) 毒物劇物の化学的な性質について			1～4	
	2 一般化学		(1) 毒物劇物取扱者資格試験に頻出する一般化学			5～7	
使用テキスト	『毒物及び劇物取締法解説』薬務公報社、『わかりやすい毒物劇物取扱者試験』弘文社						
参考図書	無						
評価の要素	資格試験合否、学習態度						

科目名	(自由選択) 毒物劇物取扱者資格講座	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	15
学 科	全経営学科共通			学 年	1		
到達目標	農薬の一部が含まれる毒物・劇物の取扱を学び、毒物劇物取扱者資格の取得を目指す。						
指導内容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 毒物及び劇物		(1) 毒劇物・毒劇物取扱者とは (2) 中毒事故の事例			1	
	2 毒物及び劇物取締法解説		(1) 法律の目的 (2) 営業者、登録・届出 (3) 毒劇物の表示・譲渡・交付 (4) 事故の際の措置			2～3	
	3 受験対策		(1) 模擬試験の実施			4～7	
使用テキスト	『毒物及び劇物取締法解説』薬務公報社、『わかりやすい毒物劇物取扱者試験』弘文社						
参考図書	無						
評価の要素	資格試験合否、学習態度						

科目名	(自由選択) 農業機械操作実習Ⅱ	区分	共通専門科目	単位	1	総時間	45
学 科	全経営学科共通			学 年	2		
到達目標	トラクタとトレーラの操作・運転技術を身につけ、けん引免許(農耕車に限る)の取得を目指す。なお、本実習が始まるまでに、大型特殊免許(農耕車以上)を取得すること。						
指導 内 容	大項目 (単元)		(小項目) (教授内容)			回	
	1 けん引の基本操作		(1) けん引の操作 (2) 前後進、外周走行、車庫入れ、S字			1～4	
	2 けん引の路上走行		(1) 道路交通法に従った路上走行 (2) 運転コースの解説 (3) 運転技能の評価			5～18	
	3 けん引免許(農耕車に限る)受験		(1) 運転免許センターでの技能試験			19～22	
使用テキスト	無						
参考図書	配付資料						
評価の要素	課題提出(技能試験の結果)、学習態度						